

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	人がいつまでも創造性を持って「まち遊び」できる地域作り
対象地域	宮崎県延岡市
活動概要	<p>延岡市の北東部に広がる東海地区は、かつて舟運基地として栄えた地域です。しかし度重なる物流システムの変化に対応できず、過疎化高齢化の激しい地域でもあります。</p> <p>ただ、地域自身は区画整理がなされていないので、昔のまち型が残り、路地が多く、巨木、井戸、石垣だけでなく、舟運基地の名残として、水神さんや庚申さんがたくさん祭られており、歩いて楽しい地域でもあります。</p> <p>また、地域の高齢者には生活技術や生活の知恵がたくさん伝承されているのに、遊びと文化の経済軸のない現状では、老後をクリエイティブに遊ぶ事に罪悪感の方が先立ち身につけてきた技術や知恵を「まち遊び」として活用することができないままです。</p> <p>それで地域再生の手法として「まち遊び」を創生していくことで、まちの魅力をみんなの手でブラッシュアップしながら景観も修景し、歩いて楽しいまちから、滞在したいまちに育てていきたいと思っております。</p> <p>前段としてすでに地域内で「水辺から文化の里づくり」プロジェクトを6年開催しており、今回の提案は其中で実現したいと思いつつも出来なかった事でもあります。</p>
今年度の主な取組	<p>① 路地裏探検ルート開設とマップ作りを行う。</p> <p>② 古老からの聞き取りにより、昔遊びや現代の暮らしに合わせた新しい形の「川普請」「道普請」などのシステムを復活させる。</p> <p>③ 海外アーティストによるアーティストインレジデンスをさらに続けて行くことにより、まちに新たな魅力を付け加えていく。(今までの活動の中で、毎年一人ずつ、日本、メキシコ、キューバ、中国のアーティストを招聘している。)</p> <p>「まち歩き」イベントとからめ、街角ショップ、街角ギャラリー、街角カフェ、街角アトリエ、街角工房などを充実させていく。</p> <p>区画整理等から取り残された事で残っている地域の魅力を自ら気付き、みんなでその魅力に磨きを掛けることで、人が訪れ、新しい体験や宿泊、飲食買い物などに繋げていくまちを作る。</p> <p>また、海外からのアーティストによるアーティストインレジデンスを導入することで、地方が直接海外とつながる仕組みを作る。</p> <p>街区の脩景に地区住民自らが関わる仕組みは、昔、村中の「もやい」で「川普請」「道普請」などをしていたと同じような仕組みを、現代版で再構築し、実施していく予定である。</p>
活動結果	<p>活動を通じて、高齢の方々が、昔の舟運の歴史や、川での遊びの数々を語り、シジミ堀りや、カニ取り、うなぎつかみなど昔の川遊びの思い出を語ってくれるなど、交流が深まりみんなが喜ぶ取り組みであったと成果を感じている。</p> <p>スタンプポイントに選んだ石垣や地域内の巨木、生垣、庚申等、神社などもみんなが思っていたより魅力的で、選ばれた家の人は改めて自分の家に誇りを持ち、地域の魅力を再発見してくれる効果も生まれている。</p> <p>日本人のコミュニケーションの取り方は、集まって話し合いをすることより、共同作業をしながら話をして、その後一緒に食事をするというやりの方が、一番合っているのではないかと痛感した。</p> <p>ただし、活動を通じて、狭い地域社会故の問題や日本の男性高齢者の思考傾向や癖などもわかってきている。</p> <p>それ故にこそ、地域の中で遊びと仕事の中間のような仕組みを作って、地域のあらゆる世代の人々が、参加し合えるようにすることが大事だと痛感した。</p> <p>地域外から来られた方々が、この地域を絶賛してくれたのも、地域の人にとっては嬉しく、初めての経験だったようで、余りに身近な物は、外の人に褒められることで、初めて価値を知るという経験も、本当に良かったと思っている。</p>

<p>当初予想していなかった効果</p>	<p>思った以上の方々が、この地域に愛着を持っていたことに気づいた。高齢の方にとって、住馴染んできたこの地域が、舟運基地として栄えていた頃から、だんだんと廃れて行った現代までを見てきたことで、諦めを抱いていたことが、昔から残る町型そのものに価値があると言われ、自分たちがたどってきた歴史そのものも残し伝えたいと思ってもらえたことが大きかったと思っている。</p> <p>地域に対する誇りは、暮らしていくうえでとても大切なことですが、利便性を優先することで、古い町型が整理されることも多く、ここはまさに廃れ方が劇的で、少しずつ時代に合わせて改良するということがなかった分、古い物も沢山残り、その分の諦めも大きかったのだと思っている。</p> <p>このイベントに参加した人の口コミで、この地域の面白さと、ガイドブックがあることが伝わり、独自にガイドブックを貰いに来て回る人や、団体で来て、まずこの地域の歴史等の講義を受けて回る、老人クラブや成人大学などが増えて来た。</p> <p>また、このイベントに参加して、この地域の魅力を発見し、趣味のトライアスロンのトレーニングをするのに、この地がぴったりだと気づき、定年前に造ろうとしていた家をこの地で造るべく、土地探しをしている人も出てきている。</p> <p>大学から、来年は準備段階から学生を参加させて欲しいとの申し出も受けている。今回参加して、いろいろな地域の評価の仕方や物の見方、関わっている人々との交流等で、学生に多くの刺激を与えることができたと思っていたためである。</p> <p>このイベントで竹細工に参加した人々がとても楽しんでくれたことで、自分たちの持っていた技術を見直し、新しい商品開発として、竹で「マイ箸入れ」を作って、地元わたなベストアワードで展示即売会を開催していた。私共の所にも見せに来てくれたのは、このイベントで行動を起こすことの楽しさを感じてもらえたからだと思う。</p>
<p>実施状況(写真)</p>	<div data-bbox="655 904 1177 1279" data-label="Image"> </div> <p>【写真】まち遊びプログラムの実施(スタンプラリー)</p>
<p>応募団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 五ヶ瀬川流域ネットワーク</p>
<p>リンク</p>	<p>http://www.riverpal.com</p>
<p>部局/担当者名</p>	<p>理事長 土井 裕子</p>
<p>連絡先</p>	<p>TEL/FAX 0982-42-3005</p>
<p>推薦市町村名</p>	<p>宮崎県延岡市</p>